# 1年学年通信 10月号

金沢錦丘高等学校1年学年団

## 行事予定

月	火	水	木	金	土	В
9/28	9/29	9/30 中間域第1	10/1 中間:域第2	2 中間域第3	3	4
5	6	7	8	9	10	11 中学入学説明 会(車での登 校厳禁)
12 完全冬服 身体計測(午 後)	13	14	15 歯科検診(午 前)	16	17	18
19	20	21	22 内科検診① (午後) ワックスがけ	23 思春期講座 (6,7 限)	24	25
26	27	28	29 校内読書会2 内科検診2 (午後)	30	31 ベネッセ総合 学力テスト	11/1
11/2 学校公開	11/3 文化の日 〈 <b>登校日</b> 〉 教育講演会 (午後)	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8

## ★「実り」 季節は秋!

**文理選択**は人生の大きな分岐点です。類型登録票を書くにあたり、自分がどのような分野を学びたいのか、どのような進路に進みたいのかについて、保護者の方や先生など周囲の人と相談しながら、真剣に考えたと思います。

高校受験、文理選択、大学受験、就職活動、結婚、転職、etc…、人生で何度か大きな選択の機会がやってきます。周囲のアドバイスに耳を傾け、自らの決断で明るい希望のある選択をしていく。今後のみなさんの「決断」には「責任」がついてきます。高校時代から考え、期日までに決断する能力を伸ばすことが、みなさんの未来につながります。

さて、秋と言えば、「実りの秋」。休校を経て高校生活がスタートしてから4カ月が経ちました。みなさんはどんな「実り」を感じていますか? 今月は、**2学期中間試験、ベネッセ総合学力テスト**が行われるとともに、**課題研究の防災・減災、商店街活性化プロジェクト**が始まっています。教科の授業だけでは触れることがで

きない、身近な街の、実際にそこにある課題について探究する貴重な機会です。日々の学習でインプットした**知識**や身に着けた**思考力、コミュニケーション能力**は、実生活で、実社会に向けてアウトプットしてこそ意味があります。将来、社会人となる自分自身の世界観を広げ、深めるチャンスです。積極的に取り組みましょう!

### ★ 2学期中間試験を経て、ベネッセ総合学力テストに向けて

9月30日(水)~10月2日(金)に行われた **2 学期中間**域線は、入学して2回目の**定期**域線でした。 **日々の授業や朝学習、小テストが定期**試験につながっていることに気づいていますか?そして、この**定期**試験の積み重ねが、**校外装式、大学入試**につながっていきます。インプットしたことを良く考え、何度もアウトプットすることで、確実に知識は定着し、**思考力**は高まります。定期 環後の**解き直し**で、テストに向けて不十分だったところを復習し、さらに理解の質を高めましょう。

また、10月31日(土)に今年度2回目となるベネッセ総合学力テストが行われます。「模式は試験範囲が決まっていないから、勉強しても変わらないから、勉強しない。」と思っているあなた!! 模式やテストのために見直す公式や文法の一つ一つが、大学受験や進路を切り開く力になります!これまで学んだ範囲や前回の7月模式の結果を振り返り、苦手部分を克服しましょう!そして、結果が返ってきたら必ず解き直して、実力アップにつなげましょう!もちろん、模式の問題、解答解説、解答用紙は3年生まで大切に保管して、何度でも解き直しましょう。

### ★ これから必要な力を身に付けるために

急速な IT 社会化、少子化、環境汚染、感染症・・・、変化の激しい社会を生きていくために、これからどんな力を身に付けることが必要でしょうか? それは社会人として求められている力であり、「詩解力」や「思考力」、「コミュニケーション能力」等があげられます。しかし、これらの力をテスト勉強や受験勉強だけで身に付けることは難しく、他者と対話しながら、他者の意見に触れ、自分の考えを修正していく、多様な経験を積むことが必要となります。 2 学期は防災・減災や商店街活性化についての課題探究がスタートしています。 ゲストティーチャーによる講義やフィールドワークを通して、分かったことや発見したことをグループで共有し、問題点に気付き、自分が考えた改善策を他者に提案、討論することで、新たな問題点を発見、改善していく。「学校の勉強で解く問題」とは違い、「社会に存在する問題」の多くには、正しい答えがあいません。だから、より良い方向性をみんなで提案して、講論して、常に改善し続けていくことが求められています。この課題研究を通して、これから必要な力の一端を身に付けることができるはずです。

「SDGs」を知っていますか?国連が提唱した、全人類が解決すべき問題点を 17 分野に分類したものです。 問題点には、森林保全や海洋保全、ゴミ問題などから、平等な教育、貧困問題などまでがあります。しかし、考え方の根底にあるのは、「誰も損をしない、持続可能な経済活動を考えて生み出そう。」です。 すばらしいですよね! 自分が楽で、自分がお金を儲ければいいのではなく、関わる人々に互いに利益があり、その経済活動を続けていくことで、環境にも、将来的にもいい影響しかない! そんな経済活動を、企業は当然考えて経営する時代になっているのです。みなさんも、何をするべきかをよく考えて、Win-Win(互い古み得で楽しい)な学校生活を送りましょうね!